

若きクリエイターの発信地 第7回S I C F開催のご案内

スパイラル/株式会社ワコールアートセンターは、第7回S I C F (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) を、本年5月2日(火)から5日(金・祝)まで、スパイラルホールで開催いたします。S I C Fは、独自の創作活動に取り組む若きクリエイターたちに作品発表の場を提供するイベントで、1999年から毎年開催しております。



(第6回S I C Fの様様)

新進気鋭クリエイターへの登竜門

期間中、第一次のファイル審査を通過した新進気鋭のクリエイターたちが、スパイラルホールを50に区切ったブースの中で、美術、デザイン、ファッション、音楽、映像、CGなどあらゆるジャンルに渡る自由なクリエイションを発信します。また、会場には新しい才能を求めるギャラリーやショップのオーナー、プレス関係者、クリエイターの方々が来場するというサロンの性質も兼ね備えており、参加者たちが個展やグループ展といった次なる活動へ進むための登竜門となっております。

グランプリ受賞者はスパイラルで個展を開催

S I C Fではグランプリをはじめとする各賞を設けております。今年の審査員は、独自の姿勢で進化し続ける「アップリンク」を主催する浅井隆、ファッションのジャンルを超えて「BEAMS」というブランドを表現するINTERNATIONAL GALLERY BEAMS 兼 B GALLERY プランナー・佐藤尊彦、グローバルな観点で常に最先端のアートを意識する森美術館副館長・南條史生、そしてゲスト審査員として不思議な世界観で観るものを圧倒する「珍しいキノコ舞踊団」の伊藤千枝、スパイラルのチーフキュレーターで愛・地球博におけるアートプログラムのキュレーションも手掛けた岡田勉の5名が審査にあたります。



第6回S I C F
グランプリ受賞作品
塩保朋子「acorn」(部分)

グランプリを受賞したクリエイターは、秋にスパイラルで個展を開く権利を授与されます。また、スパイラルの広報紙「スパイラルペーパー」や各種マスコミ媒体での紹介、スパイラルでのアートプロジェクトへの参加など、幅広く活躍していただく機会があります。

審査と賞について

国内外で幅広い分野でのクリエイションに携わる審査員と、入場者の投票により授賞を行います。

また受賞者には以下の特典が授与されます。

グランプリ : スパイラル 1F ショウケースにて展覧会の実施

スパイラルペーパーでの紹介

次回 S I C F へ出展招待

準グランプリ : 次回 S I C F へ出展招待

オーディエンス賞 : 次回 S I C F へ出展招待

審査委員賞 : 次回 S I C F へ出展招待

第6回 S I C F 受賞者



準グランプリ

佐藤好彦



審査員賞・浅井隆賞

カキノキクラブ



オーディエンス賞

押忍！手芸部

【ゲスト審査員】

伊藤千枝 (珍しいキノコ舞踊団)

幼少よりモダンダンスを学び、15歳よりクラシックバレエを学び始める。90年「珍しいキノコ舞踊団」を結成。以降全作品の演出・振付・構成を担当。「ダンスを研究する」ことを目的とし、国内外で公演を展開している。本公演のほか、映画、演劇への振付、出演、他のアーティストとのコラボレーションなど、その活動は多岐にわたる。01年よりソロ作品の発表を開始。代表作に「フリル(ミニ)」(00年)、「New albums」(02年)などがある。

【審査員】

浅井隆 (アップリンク主宰)

87年にアップリンクを設立。アート、ドキュメンタリーフィルムの配給、書籍の編集発行、そして上映やイベントを行う『アップリンク・ファクトリー』と『アップリンク・ギャラリー』(03年4月早稲田にオープン)を運営する。デレク・ジャーマン作品を日本に紹介し、最近ではプロデュースした『アカルイミライ』(黒沢清監督)がカンヌ国際映画祭コンペティションに出品された。04年は『アフガン・零年: OSAMA』を配給した。

佐藤尊彦 (INTERNATIONAL GALLERY BEAMS 兼 B GALLERY プランナー)

ビームスが展開する全てのアイテムから再編集し、独自の表現方法で「ビームス・スタイル」を提案、発信するショップ、BEAMSNEWS 代表をつとめた。BEAMS に関わる様々なアーティスト、デザイナー、クリエイターとのエキシビションやイベント等の企画立案から、ショップ全体のディレクションを行う。昨年は Mick Rock 写真展を東京都写真美術館と同時期開催し、ROCK'N'ROLL をファッションの視点で表現。また、03年秋より BEAMS の運営する CAFÉ 3 店舗をアーティストの表現場所として活用できるよう改装、プロデュースを行っている。

南條史生 (森美術館副館長)

97年ヴェネツィア・ビエンナーレ日本館のコミッショナー、98年ターナープライズの審査委員などを歴任。また、01年には「横浜トリエンナーレ2001」におけるアーティストック・ディレクターも務める。95年「新宿アイランド・アート計画」、99年「博多リバレイン・アートプロジェクト」などパブリックアートの分野でも活躍。02年森美術館副館長に就任。

岡田勉 (スパイラル チーフキュレーター)

88年入社以来、スパイラルで開催される展覧会等の企画・制作に携わる。また、館外施設の展覧会やイベント、パブリックアート、ワークショップ等のプロデュースも行う。現在、スパイラルのチーフキュレーター。愛・地球博アートプログラムキュレーターをつとめた。

企画概要

- 【表 記】 第7回 SICF (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル)
または第7回 SICF
- 【会 期】 Aグループ 2006年5月2日(火)・3日(水・祝) 11:00~20:00
Bグループ 2006年5月4日(木・祝)・5日(金・祝) 11:00~20:00
但し5日は19:00まで
授賞式/クロージングパーティ 5月5日20:00~(予定)
- 【会 場】 スパイラルホール(スパイラル3F)
東京都港区南青山5-6-23(東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅B1出口)
- 【開催形式】 会場を約50のブースに分けクリエイターに貸与
ブース内では作品展示やプレゼンテーションを実施
- 【応募条件】 インディーズクリエイターを自認する個人かグループ
クリエイターを支えるスクール、レーベル、ギャラリー等の団体
開場時間中、会場に常駐できること
- 【入 場 料】 一般 1日券¥700/4日券¥1,500円
学生 1日券¥500/4日券¥1,000円
- 【お問合せ先】 S I C F事務局(スパイラル内)
TEL.03-3498-1171 FAX.03-3498-7848 E-mail:sicf@spiral.co.jp
- 【グラフィックデザイン】 マグニチュード グラフィックス
- 【会場構成】 CLIP
- 【企画制作】 スパイラル
- 【主 催】 株式会社ワコールアートセンター

広報のお問い合わせ

株式会社ワコールアートセンター
スパイラル広報 渡邊モイチ、伊藤俊子
〒107-0062 東京都港区南青山5-6-23
TEL. 03-3498-5605(広報直通) FAX. 03-3498-7848
E-mail. press@spiral.co.jp